

春日部市議会議員 (次世代 かすかべ!)

吉田
みのるの

MY 通信

Minoru Yoshida

第9号



3月議会特集号

4月9日の埼玉県議会議員選挙にて、会派の仲間の「栄ひろみ」君が出馬をし、19,139票のご支持を頂き、トップ当選を致しました。

多くのご支援をありがとうございました。

今後は、栄県議と一緒に
なって地域の課題に
取り組んでいきます。

想いがみのる

願いがみのる

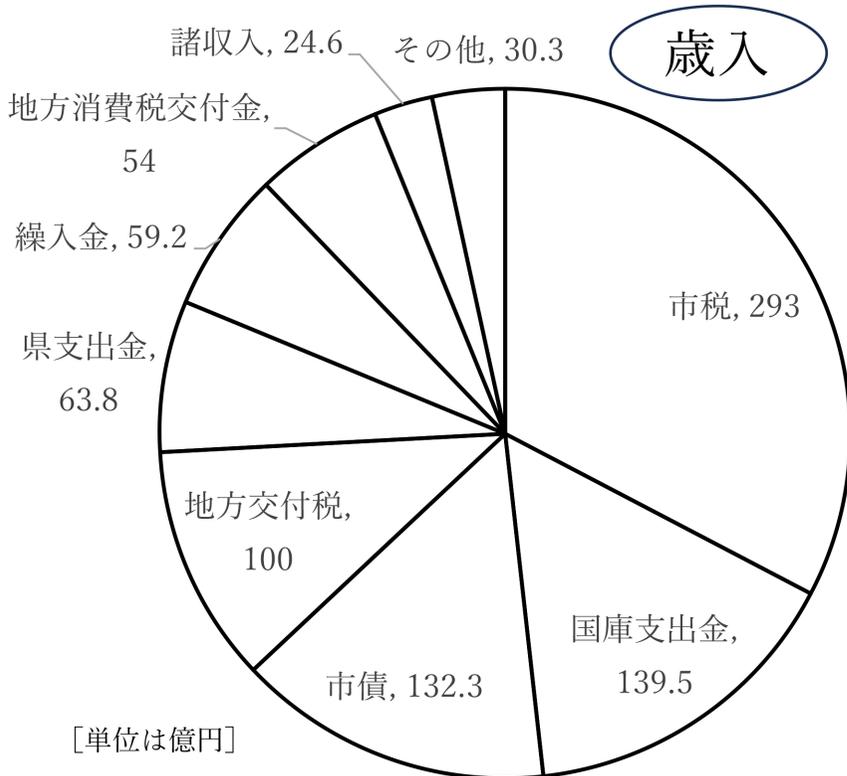
必ず みのる

吉田 みのる

2期目の主な役職

- ◇厚生福祉委員会 副委員長
- ◆議会運営委員会 副委員長
- ◇議会改革検討特別委員会 副委員長
- ◆埼玉斎場組合議会 代表者
- ◇次世代 かすかべ! 事務局長
- ◆春日部市「庄和大風文化保存会」 顧問
- ◇西宝珠花区 理事
- ◆防災士

令和5年度の予算は過去最大の897億円



市税：春日部市に納める税金
 国庫支出金：国が地方に対して支出する補助金等
 市債：国や銀行等からの借入金
 地方交付税：全国の市町村が等しく運営できるようにする交付金
 県支出金：県が市に対して支出する補助金等
 繰入金：基金から取り崩したお金
 地方消費税交付金：県が徴収した地方消費税の1/2に相当する額を、市町村に交付
 諸収入：延滞金・預金利子・貸付金元利収入・雑入など
 その他：使用料や手数料、法人事業税交付金など

[単位は億円]

「新本庁舎の運用について」

○新本庁舎が来年度（令和5年度）の9月に完成し、1月に引っ越しとなります。春日部の新たな時代の幕開けとなる本庁舎には、当然誰もが大きな期待を寄せている。そこで、新本庁舎が具体的にどのような庁舎になるのか、その特徴となる部分を伺う。

↓DXの推進により市民の皆様が効率よく手続が行えるように、窓口環境の整備を進める。分散化している窓口の集約化やバリアフリー化、ユニバーサルデザインの充実等により、誰もが利用しやすい庁舎にしていこう。

災害時の防災拠点とするために、新築棟に免震装置、2階以上を執務室とする構成を採用。停電時にも対応できるように、非常用発電機の設置等、災害に強い庁舎となっている。にぎわいを創出する空間づくりとして、ギャラリ-

（仮称）こどもライブラリー、食堂、まちなかひろばで構成されるまちの commons ペースを設置し、子どもから大人まで集い、にぎわいのある庁舎にしたい。

○窓口環境の整備に関して具体的な取組について伺う。

↓書かない窓口とAI翻訳タブレットの導入を予定している。書かない窓口とは、窓口での手続にて、マイナンバーカード、運転免許証などをシステムで読み込み、申請書の記入の手間を省き、市民の負担を軽減するものです。

AI翻訳タブレットは、様々な外国語や手話を用いる市民に向けて、来庁された市民の方の要望を理解し、制度や申請等の説明を分かりやすく行うため、行政用語の翻訳、手話通訳に対応したAI翻訳タブレットの導入を予定している。

○分散化している窓口の集約化について伺う。

↓新たに設置される上下水道部を既存棟1階に配置する。また、別館などの部署についても、新本庁舎へ集約していこう。

○食堂（選定業者の進捗状況）、まちなかひろば（コンセプトや具体的な利用方法）について伺う。

↓食堂は公募型プロポーザル方式により、食堂運営事業者の募集を行っている。3月中旬に事業者の選定を行い、1月の移転に合わせオープンできるように準備を進めていく。まちなかひろばの利用方法は、平日は市民が集い憩うスペースとして、ひろばの周りにベンチを設置する。土日はまちなかにぎわいを創出するスペースとして、様々な屋外イベント、マルシェやフリーマーケット、さらにはステージを使用した音楽イベントやダンスの発表会などを計画している。

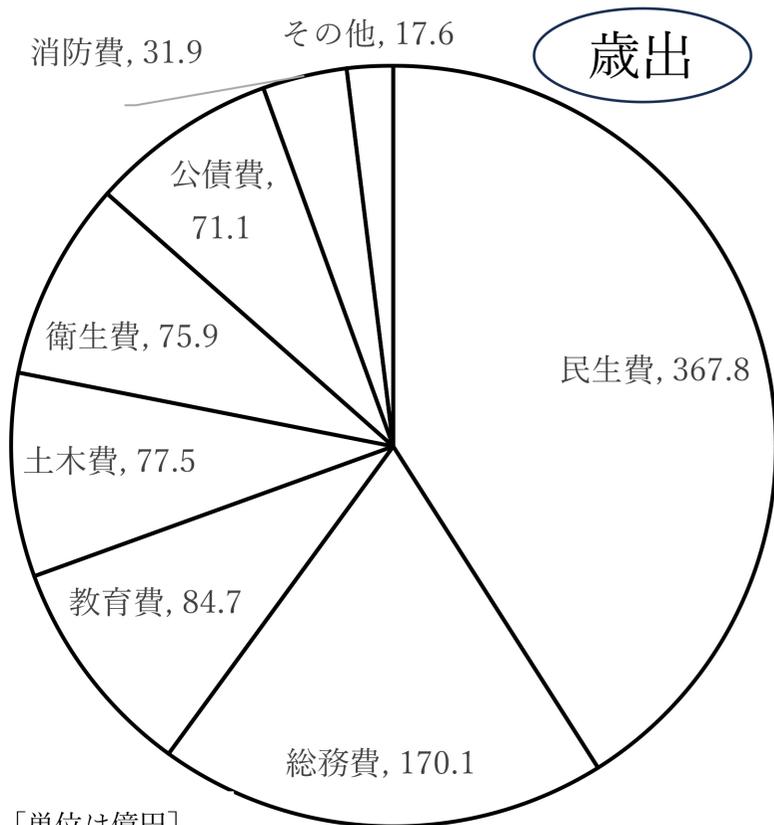
○バリアフリー化、ユニバーサ-

ルデザインの充実とはどのような仕様なのか、具体的に伺う。

↓バリアフリー化…ロープやエレベーターの設置により、段差がない移動経路を整備する。バリアフリートイレを新築棟の1階から5階までの各階、既存棟の2階及び5階、計7か所設置する。視覚障害者誘導用ブロックの設置や各トイレブースに光の点滅により緊急事態を知らせるフラッシュユベルを設置。ユニバーサルデザイン…見た目で分かる案内用の図や記号、いわゆるピクトグラムを設置し、トイレやエレベーターなどの位置を分かりやすく案内する。各部署の表示を日本語や英語だけではなく、数字やアルファベットを用いることで、外国の方にも分かりやすいサイン表示にしていこう。



歳出



[単位は億円]

民生費：生活保護、高齢者・障がい者・児童・母子への生活支援など

総務費：人事・財政・選挙などの事務全般について

教育費：学校教育・生涯学習や文化・スポーツの振興など

土木費：道路・橋りょう・再開発事業・下水道など

衛生費：環境保全や疾病予防、健康増進など

公債費：市債を返済する元利償還金など

消防費：災害対策（消防や火災予防など）

其他：商工業費・農林水産業費・議会費など

◆令和5年度に新規・拡充する事業 (一部抜粋)

○出産・子育て応援事業 約1,8億円

妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊婦等に対する経済的支援を行うもの。

妊娠届出時、出生届出時併せて10万円の支援。

○学校政策企画事務 約1,450万円

温水プールの整備にかかる基本構想の策定。

○史跡神明貝塚保存活用事業 約4,150万円

史跡神明貝塚を保存管理するための公有地化にかかる土地購入費、委託料等。

○避難所環境整備事業 約10,5億円

避難所の空調設備を整備することで、避難者の環境改善を図るものです。

○デジタル推進事業 約4,400万円

書かない窓口支援システム、AI翻訳タブレットの導入

○体育施設運営事業 約3,3億円

大沼陸上競技場のリニューアルにかかる委託料

「(仮称)大風文化交流

センターについて」

○令和6年度の供用開始について、改めて(仮称)大風文化交流センターの今後のスケジュールについて伺う。

↓工事の期間は、令和6年3月15日までを予定している。改修工事完了後の令和6年4月以降に、展示物の設置や什器備品の搬入、受付業務等の運営準備を進めていく。現在では、供用開始は令和6年8月を目指して準備を進めている。

○例年、大風の文字書きを2月の最終日曜日あたりに行うが、工事期間の対応をどのように考えているのか伺う。

↓改修工事の契約締結後、受注者と工事の工程や安全管理等について調整を行っていく。万が一工事の進捗等により使用できなくなる場合に備え、江戸川小中学校の体育館や庄和体育館なども確保したいと考えている。

○具体的にどのような各種展示を考えているのか、大風の展示について伺う。

↓旧校舎2階のクラブハウスを大風文化展示室として整備する予定。大風あげの由来や歴史など、大風文化を伝える説明や写真を展示用パネルで紹介。大風の製作工程の模型、大風あげ祭りの記録映像等、動画が視聴できる設備を設置し大風が飛揚している情景が感じられる展示を考えている。大風文化展示室の他にも旧大風会館で展示していた風の一部を階段の踊り場等に掲示する。

○西親野井区にある神明貝塚については、どのようにPRし、活用していくのかを伺う。

↓発掘された資料やジオラマの展示、土器づくり教室などの体験活動、周辺の地域資源と連携した周遊コースの案内などの取組を進め、史跡

の整備、活用の機運を醸成していきたい。

○展示以外に、どのようなイベントなどを検討しているのか伺う。

↓1階部分や体育館、校庭部分を主に地域の方がスポーツや文化活動等で交流を図り、地域コミュニティの拠点としても活用できるように整備していく。首都圏外郭放水路(龍Q館)の見学会や春日部みどりのPARKなどと連携した観光ツアーを開催し、凧作り教室や凧あげ体験、実際に展示している民具を使用した農業体験等の体験事業の実施などを考えている。農業分野と連携したマルシェの開催など、跡地活用によるにぎわいの創出に向けた事業について、有識者からもご意見をいただきながら、地元の関係団体、地域住民の方々と意見交換を行い、連携を図りながら具体化に向け



詳しくは市議会HPの動画をご覧ください

発行

吉田みのる後援会
春日部市西宝珠花 52
048-748-1060
2023年4月発行
第9号



て取り組んでいきたい。